



年 組 名前

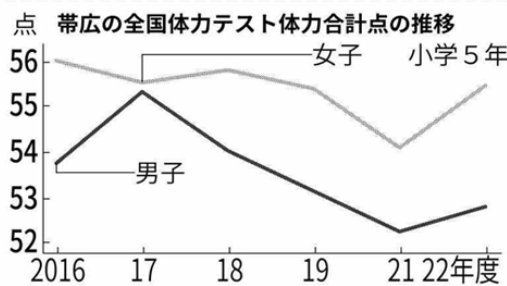
小5男女全国上回る

中2男女7回連続下回る

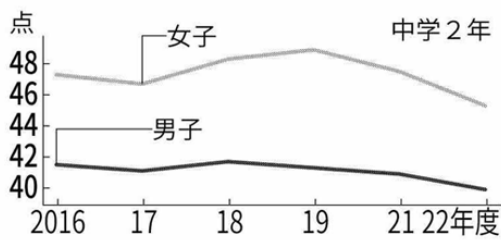
体力テスト 帯広市結果

帯広市教委は15日、小5と中2を対象とした2022年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全国体力テスト)の結果を公表した。実技8種目を点数化した「体力合計点」で、小5女子は16年度以来6年ぶり、男子は17年度以来5年ぶりに全国平均を上回った。中2は、記録を公表している15年度以降、7回連続(20年度は中止)で男女ともに全国平均を下回った。

全国体力テストはスポーツ庁が昨年4～7月に調査し、市内では全小中学校計40校(大空学園義務教育学校は各小中1校として加算)で、児童1329人、生徒1182人が参加した。体力合計点(80点満点)は、小5男子52・77点、同女子55・43点。全国平均と



比べ男子は0・49点、女子は1・12点上回った。種別では、男子が握力や反復



(注)2020年度は未実施

横跳び、立ち幅跳びなど5種目、女子も長座体前屈やソフトボール投げなど5種目で全国平均を超えた。一方、中2男子は39・93点、同女子は45・20点。全国平均より男子が1・11点、女子が2・22点下回った。男子は20リシャトルランなど3種目で全国平均を上回ったが、女子はいずれも全

国平均を下回った。

市教委は小5男女が全国平均を上回った背景として、市内の小中全学年を対象に国と同様の項目で体力・運動調査を行っていることを挙げた。市教委学校教育指導課は「早くから同様の調査種目を経験し、子どもが各種目の要領をつかんでいたのでは」と分析する。中2男女が全国平均を下回ったことに関しては、新型コロナウイルス禍による部活動の中止の影響などを理由としている。市教委は今後、子どもが楽しく運動に取り組めるようなイベントなども開催するとし、「地域や家庭とも連携し、児童生徒の運動習慣の改善を行いたい」(同課)としている。

(高橋広椰)

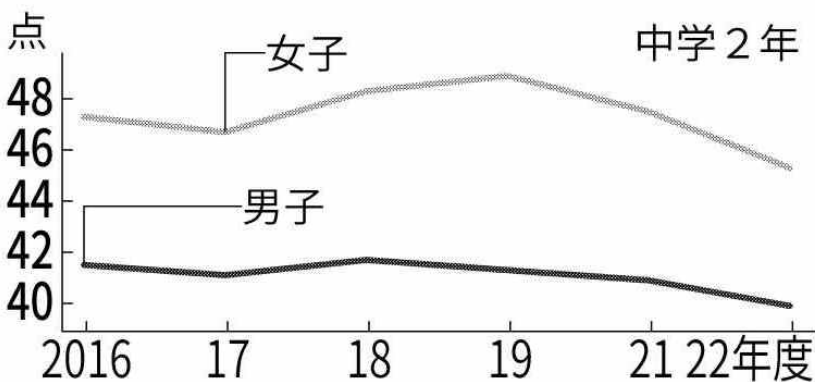
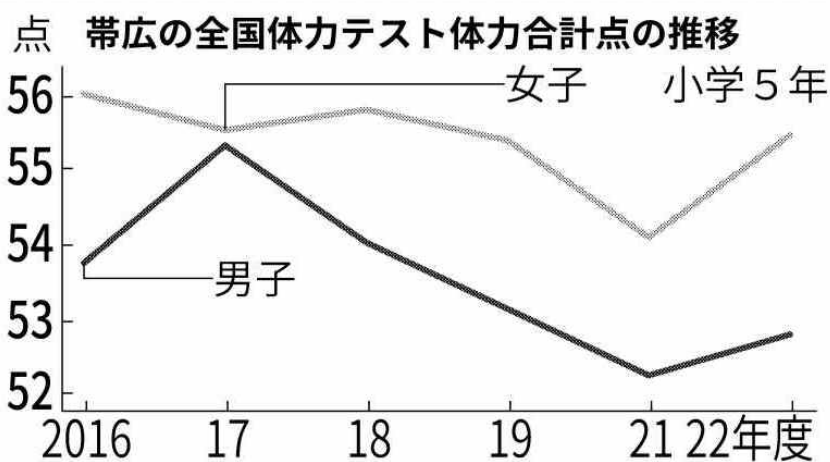


道新のワークシート

年 組 名前 _____

① 見出しに「7回連続」とありますが、「7年連続」と書かれていないのはなぜですか。

② グラフの中に、2022年度の全国平均の値を加えようと思います。
それぞれのグラフに男子は●、女子は○で点を打ちなさい。



(注) 2020年度は未実施